

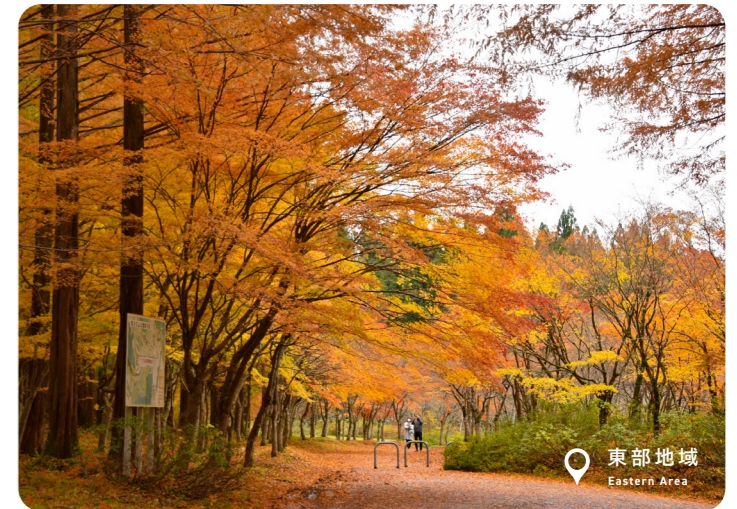
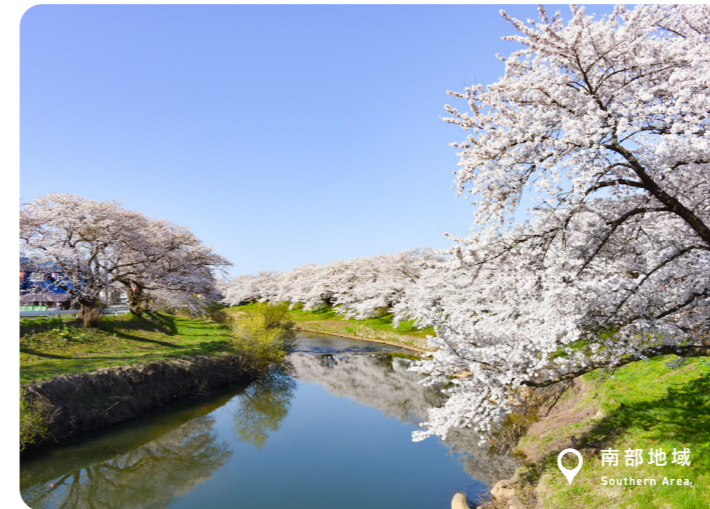


# 秋田市 景観マップ

秋田市内を7つのエリアに分けよりの景観を紹介します。



**2022**  
Akita city Landscape Map  
←ダウンロードしてご覧いただけます。



## information

### 秋田市公式 Instagram

### @akitacity\_official

【#findakitacity】をつけて  
あなたが見つけた秋田市を投稿しよう！

秋田市では四季折々の風景、自然、歴史、伝統、食文化といった魅力を国内外に向けて発信するため、秋田市公式Instagram（インスタグラム）を開設しています。秋田市の魅力ある写真や動画を職員が投稿するほか、皆さんからの投稿も募集しています。皆さんが見つけた



秋田市の素敵な瞬間や、自分しか知らない秋田市の魅力のアレコレを「#findakitacity」をつけて投稿してください！



### 秋田市のおすすめ情報サイト

秋田市観光・イベント情報総合サイト

**アキタタッチ** PLUS

秋田市観光振興課 TEL 018-888-5602  
(公財)秋田観光コンベンション協会 TEL 018-824-1211



### 羽州街道ガイドブック

『あきた羽州街道 時を超えた散歩道』

秋田市文化振興課 TEL 018-888-5607  
PDF版のダウンロードはこちらから→



### 秋田市景観マップ

発行日：令和4年3月  
発行：秋田市都市整備部 都市計画課 都市環境担当  
〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号 TEL 018-888-5764 FAX 018-888-5763  
※掲載のデータは2022年3月時点のものです。発行後に変更になっている場合がございますので、あらかじめご了承ください。

### 秋田市景観マップって？

秋田市の景観資源（風景、眺め、まちなみなど）を後世に残すため、各地域の景観資源を再確認しながら新たな景観資源を発見していきました。2022年（令和4年）に「秋田市景観マップ」としてまとめ、秋田市7地域の景観を紹介しています。

いつもの場所、  
知らない景色に会いにいく。

# 中央地域

Central Area



行政、経済、産業などの各種機能が集積する中央地域には、秋田市における都市機能の中核を形作る多様な景観があります。歴史や緑の要素を含む商業空間や街路空間といった景観資源を活用するとともに、旭川が流れる旧城下町の特性を活かした景観がつけられています。緑化重点地域に指定されている「秋田駅周辺地区」では、都市緑化の推進や適切な大規模建築の誘導、居住環境の整備等が行われ、中心市街地では千秋公園から続く、秋田市文化創造館、エリアなかいちなどが整備されました。自然的景観では太平山を望む眺望点の保全を目指し、美しい眺望を大切に景観づくりが行われています。



## 1 千秋公園(桜)

千秋公園は、秋田藩20万石佐竹氏の居城跡で、明治29年(1896年)に公園として整備された。春になると桜やツツジが咲き誇り、多くの人々を魅了している。古くから市民に愛されてきており、秋田市を代表する桜の名所として多くの観光客も訪れる。



## 1 千秋公園(御隅櫓からの眺望)

久保田城御隅櫓は、21世紀に向けて秋田市の発展を願い、史料に記されている2階造りを基本とし、その上に展望室を加えて復元されたものである。4階の展望室からは市街地のほか、太平山や男鹿半島も一望できる。



## 1 千秋公園周辺(はす)

千秋公園入口にある「大手門の堀」には、淡いピンクの「蓮の花」が7月上旬から咲き始め9月上旬までの約2ヶ月にわたり咲き誇る。蓮の美しさを地域の財産ととらえ、近年、様々なイベントが行われている。



## 1 千秋公園(つつじ)

千秋公園はツツジの名所でもあり、大紫、琉球、レンゲ、黄レンゲ、霧島など、約2600株のツツジが美しく咲き誇る。夜間ライトアップも行われ、幻想的なツツジを楽しめる。



## 2 総社神社

住宅地の中にある自然豊かな神社で、けやきなどの巨木に覆われた緑地景観。総社神社の鎮座する森にあるたくさんの緑が人々に安らぎを与えている。



## 3 けやき通り

昭和60年(1985年)、第2回市民に親しまれる道路愛称として、「けやき通り」として命名された。道路の中央分離帯のけやき並木と木々の間に植えられたアジサイや両側の歩道のプラタナスが、春夏秋冬を通じて、ゆとりと潤いを感じられる。

## 4 草生津川コスモスロード

面影橋のあたりから草生津川に沿って帯状にコスモスが植えられていて、毎年秋には見事なコスモスを楽しむことができる。また、春には草生津川の水面と桜並木が調和し、見事な景観をつくりだす。



### 【景観要素の分類】

- 自然的景観
- 住宅地景観
- 業務地景観
- 拠点景観
- 歴史的景観
- 眺望景観

※この地図は、国土地理院発行の電子地形図を使用して作成しています。



### 5 山王带状緑地

臨海十字路から約100メートル東側にある約1キロメートルの散歩道であり、深い緑に覆われ、山王の住宅街に潤いをもたらしている。平成23年(2011年)に園路のバリアフリー化を実施し、出入口の段差の解消や、水飲み場やトイレをバリアフリー対応にしている。



### 6 鹿島神社の御神木

社殿向かいの御神木(柳)と周りの水辺景観が住宅地に潤いを与えている。鹿嶋神社の創建は明治10年頃と比較的新しく、神社境内に弘化二年(1845年)に建立された「倉稲魂神碑」があり、市の文化財に指定されている。



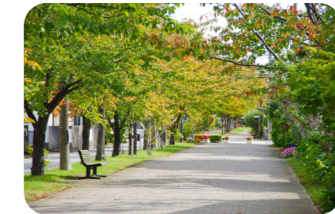
### 7 御休通り

昭和60年(1985年)、第2回市民に親しまれる道路愛称として、「御休通り」として命名された。なだらかな坂道の両側に植樹されたケヤキ並木が、四季の移り変わりに合わせて色づき、ゆとりと潤いを感じられる道路景観を創り出している。



### 8 保戸野学園通り

秋田大学附属小中学校前の高いケヤキ並木が美しい。昭和58年(1983年)、第1回市民に親しまれる道路愛称として「保戸野学園通り」として命名された。



### 9 ハミングロード

市中心部に近い泉地区にある遊歩道。多くのリンゴの木が植えられており、毎年秋には泉小学校の低学年児童が地域の人々の協力を得て、リンゴの収穫作業を行う。平成元年(1989年)に市民に親しまれる道路愛称により「ハミングロード」と命名された。



### 10 高陽の家並み

官庁街に近い住宅地。狭い路地が多いが、歴史を感じる家がある。



### 11 保戸野八丁の通り

秋田工業高等学校の裏手あたりで、ほぼ全域が住宅地の町域となっている。天徳寺から八町=約872m離れていることが由来と言われている。



### 12 泉ハイタウン

宅地開発により、道路・公園・広場等が整備された良好な住宅地となっている。地区計画が定められており、建築物の用途等の規制誘導を積極的に推進し、豊かな生活空間の創造により、良好な居住環境の形成と保全を図っている。

### 13 広小路

歩行者に安らぎを与える秋田のシンボル道路で、中心市街地のにぎわいと千秋公園お堀の潤いを要素とする商業地の景観である。



14 あくら周辺

伝統建築の趣を生かしたにぎわい空間。横町通りから移築・再現した旧大島商会店舗が令和3年（2021年）4月、まちなか観光案内所として仲間入りした。



17 有楽町周辺

煉瓦造りの建物、町屋風の店舗、保存樹、公園など様々な要素が楽しめる。古いビルをリノベーションして新たに生まれ変わらせる取り組みが目立つ。昭和感が漂う建物や店舗があり、懐かしい雰囲気をつくりだす若者に人気のエリア。



7 水沢集落

雄物川にかかる水沢橋を渡ったところに位置し、東に八幡神社、西に総墓に囲まれた集落で、昔ながらの農家建築が見える。「総墓」と呼ばれるお墓は、この集落の「伊藤家」のお墓で、本家・分家のすべての人が埋葬される。3段の石垣になっており、不思議な形のお墓である。



11 秋田空港

緑に囲まれ空に向けて開かれた滑走路が地域のランドマークとなっている。夜の空港の滑走路は、誘導灯がイルミネーションのように綺麗で、美しい夜景をつくりだしている。



15 山王・竿燈大通り

整然としたビル景観がオフィス街らしい雰囲気をつくりだしている。平成7年（1995年）、第8回市民に親しまれる道路愛称として、山王大通りの一部が「竿燈大通り」として命名され、昭和47年から竿燈のメイン会場になっている。



18 通町

江戸時代の町割を継承し、伝統建築と近代建築が融合した美しい商店街。まちづくり協定や地区計画により、その景観が保全されている。秋田藩初代藩主佐竹義宣公が外町のまちづくりとして手がけた地区といわれ、秋田の伝統的な家屋の特徴をとどめる商店が点在している。



8 新波商店街

雄物川沿いの川港町であった大正寺地区の商店街で、町家風の商店が数軒残っている。食料品、文房具、婦人衣料店、理容室等が立地しており、地域住民にとって欠かせない、地域に愛されている商店街であり、大正寺おけさまつりの会場にもなっている。



12 秋田国際ダリア園

世界14カ国約700品種ものダリアが咲く秋田国際ダリア園。秋田県文化功労者でダリア育種家の鷲澤氏が世話をし、見頃を迎える9月下旬から10月には、色とりどりの美しいダリアが一面に咲き誇る。



15 竿燈大通り

メインストリートに大小の竿燈が勢ぞろいし、一斉に立ち上がるさまは壮観で夢幻的な光景である。



19 秋田聖救主教会

洋風宗教建築がランドマークとなり、住宅街に風情を与えている。聖堂は昭和5年（1930年）に建てられたもので、その時からほとんど改変されることなく、当時の姿をそのまま残している。鉄筋コンクリート造としては、秋田県内でも初期のものにあたり、貴重な近代建築のひとつ。



9 街道の松

旧道沿いに立っており、見事な枝振りが、江戸時代の街道の雰囲気を今に伝える。文政年間（1818年～1831年）に、相川の徳右衛門家ゆかりの正治郎氏の篤志によって、五穀豊穡と通行人の安全を祈念し植えられたものと伝えられている。当時は、道路の両側に数十本あったとされる。



13 秋田県農業試験場

雄物川が運ぶ土が堆積してきた河岸の平地に、角張っている、シンボリックで現代的な建築物がそびえる。明治24年（1891年）に創設された農業試験場は、秋田市仁井田などの移転を経て、平成12年に現在の場所に建設された。



16 仲小路周辺

ショウウィンドウが並ぶお洒落な風景。にぎわい創出のため、年中通してさまざまなイベントが開催されている。



20 馬口労町通り

旧松倉家住宅をはじめとする明治時代の町屋が商店の間に残り、趣を醸し出している。馬口労町を象徴するのが、毎年8月12日に開かれている「草市」。お盆の飾り物や花、野菜などを買い求める人がつめかけ、昔のにぎわいを垣間見ることができ、夏の風物詩として今も脈々と受け継がれている。



10 新波神社

森林を背景にそびえる真っ赤な鳥居が神聖な雰囲気を醸し出している。重い屋根を支える8体の力士像と、2体の竜、これらの彫刻は一見の価値がある。平成16年（2004年）に拝殿が国の登録有形文化財に登録されている。



14 長者山から見える風景

木々に囲まれた県道9号を一直線に走ると、小高い丘の上から、山並みや田園、遠くの市街地の風景を望むことができる。



21 寺町

寺院が建ち並び、緑に囲まれたやすらぎのある通りをつくりだしている。威光を放つ大きな門、樹齢を重ねた松やイチョウなどの巨木、静かに流れる空気。寺町通りは昭和58年（1983年）、「市民が選ぶ都市景観賞」を受賞している。



15 高尾山

雄和地区の中央西部、秋田平野の南にそびえる標高380mの山で雄和地区のシンボルとして親しまれている。景観に優れ、男鹿半島、鳥海山、日本海などを一望でき風光明媚。

# 雄和地域

Yuwa Area



県内最大の河川である雄物川が地域の中央部を流れ、周辺に農地や山林が広がっています。高尾山を中心とした緑の景観資源は、雄物川の水辺景観とともに地域に潤いを与えています。妙法地区には雄和市民サービスセンターや図書館など行政機能や公共公益機能が集まり、戸米川地区や新波地区等は国道341号等の幹線道路沿道に分布。秋田への玄関口である秋田空港の周辺には秋田県立中央公園をはじめとした観光・レクリエーション施設、徹底した英語環境や集中プログラムを実施する国際教養大学や県農業試験場といった学術・研究施設等さまざまな機能が点在しています。



橋の上から蛇行する川筋と河岸の緑地が展望できる。黒瀬橋の架かる雄和下黒瀬は、市内の南西部に位置しており、森林や田畑が多く見られ、雄物川が流れる地域となっている。雄物川河口付近まで川沿いの景色を楽しみながら行くことができるサイクリングロードがある。



雄物川河岸の山頂に永正年間（1504～1521年）白華城主の配下として、白根七郎昌吉が城郭を構えた。景勝地として桜が植樹され、美しい景観をつくっている。白根館の本丸跡に俳人石井露月の句碑が建っており、ふもとの木々と雄物川が調和している。



## 1 県立中央公園

秋田市の南東に位置し、秋田空港を取り囲むようにつくられた広大な公園。青少年教育ゾーンでは、日本最大規模のフィールドアスレチックを楽しむことができる。また、ファミリーピクニック

ゾーンは、整備された緑地に噴水や東屋がアクセントとして調和し、穏やかな景観をつくりだしている。



## 4 種沢カヌー船着場

雄物川全川に整備されているカヌー船着場の1つで、雄物川中流域に位置する船着場。河岸の木陰の先に空と水面が広がる。観光りんご園の近くにあり、雄物川でクルージングが楽しめる。



## 5 竹の花公園

雄物川にかかる協雄大橋のそばにあり、バーベキューなどを楽しむことができる。近傍には市の天然記念物に指定されている竹の花の一本杉や雄和新波野球場がある。



## 6 平尾鳥

広がる水田の辺縁にどっしりとした木造の農家が見え、農村の原風景を留めている平尾鳥地区。建久年間（1190～1199年）源義経の戦死後、家臣の熊谷太郎の四男乗秋がこの地に居住し、平尾鳥式部太夫と称して、平尾鳥城を築いたことが地名の由来といわれている。



## 22 八橋旧国道の通り

切妻屋根の町屋が残り、旧羽州街道の面影が垣間見られる。八橋地区の旧羽州街道沿いは、茶店が立ち並び、芝居興行が行われるなど、城下の一大行楽地としてにぎわっていた。昭和初期の町家以外にも、倉庫、蔵も趣があり、通りの表情を豊かにしている。



## 23 菊谷小路

歴史的な町割に加え、北側を望むと遠景に山並みを楽しめる。藩政期中通町の住人で酒造業を営んでいた豪商菊屋善右衛門に由来する小路名とされている。



## 24 那波家の水汲み場

旭川岸に残る水汲み場で、久保田城下の名残りが感じられる癒やしのスポット。明治期までは飲用ともなっていた清流が偲ばれる。川反の各町には、「カド」と称する共用の水汲み場があったが、現在残っているのはこの水汲み場だけである。



## 25 赤れんが館 (旧秋田銀行本店本館)

明治後期の煉瓦造りの洋風建築で、堂々たる雰囲気からランドマークとなっている。赤れんが館は、旧秋田銀行本店本館として明治42年（1909年）に着工、同45年に完成した建物で、昭和56年（1981年）に秋田市に寄贈された。昭和60年に秋田市立赤れんが郷土館として開館した。国の重要文化財に指定されている。



## 26 北の丸から見える太平山

遮るものない視界に、太平山の裾野の広がりが見渡せる。秋田市千秋北の丸地区は、丘陵にある地理的特性により、太平山をはじめ東部地区が眺望できるポイントとなっている。



## 27 旭川から見える太平山

蛇行する旭川の背後に太平山がそびえる眺望ポイント。



## 28 秋田駅西口駅前広場

秋田駅西口駅前広場は、芝生が広がり、誰もがくつろげる憩いの空間として、またイベントの開催などにより多くのにぎわいを創出する空間として活用されている。



## 29 にぎわい交流館 県立美術館

にぎわい交流館は、芸術と文化交流の場として、幅広い市民や観光客が集い、まちのにぎわいをもたらしている。秋田県立美術館は、芸術文化活動の発表の場、そして新しい街の文化のシンボルとして市民に根付いている。



## 30 泉外旭川駅

奥羽本線秋田－土崎間の中間地点に位置する駅。令和3年（2021年）3月に開業。「泉外旭川」の名称は、泉地区と外旭川地区の境界付近に立地することに由来し、駅前広場は、住宅街との調和を意識したデザインとなっている。



## 31 市立体育館

縄文首都のオリンピック神殿をモチーフにした特徴的なデザインが目を引く。RCと金属瓦を使った曲線屋根が独特の雰囲気を作っている。秋田県のプロバスケットボールチームである秋田ノーザンハピネッツのホームアリーナでもある。



## 32 旧金子家住宅

江戸時代後期の秋田の町家の建築様式を色濃く残した商家の建物で、秋田市の有形文化財に指定されている。主屋一棟と土蔵一棟で構成され、屋根の上には雨水を貯める防火用の甕が2個置かれるなど、昔ながらのたたずまいを今に伝えている。



【景観要素の分類】

- 自然的景観
- 住宅地景観
- 業務地景観
- 拠点景観
- 歴史的景観
- 眺望景観

※この地図は、国土地理院発行の電子地形図を使用して作成しています。



- 【景観要素の分類】
- 自然的景観
  - 住宅地景観
  - 業務地景観
  - 拠点景観
  - 歴史的景観
  - 眺望景観

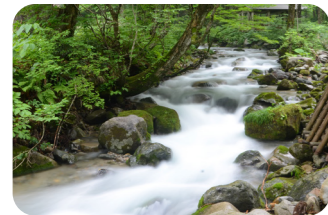
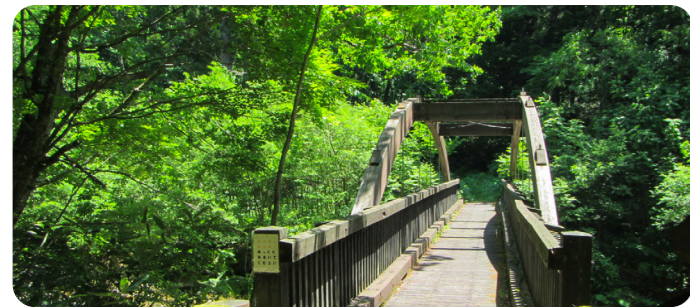
※この地図は、国土院発行の電子地形図を使用して作成しています。

# 東部地域

Eastern Area



秋田駅東地区の都市基盤整備にともなう急速な市街化によって景観が大きく変化しました。住宅地の整備が進み、幹線道路沿いには沿道型商業地が形成され、アルヴェをはじめとしたランドマークとなる施設では緑化に配慮した景観づくりが行われています。市街地の東側には農地や樹林などの自然環境が広がり、秋田市のほぼ全域から眺められ古くから信仰の対象となってきた太平山の雄大な景観が展開しています。周囲には太平山リゾート公園や仁別国民の森など自然環境を活かしたレクリエーション施設などが整備されています。また、仁別入り口にある藤倉水源地は東北最古の上水道専用ダムとして自然のなかに貴重な姿を見せています。



## 1 仁別国民の森

昭和41年(1966年)、林野庁が明治100年記念事業として、全国6箇所を「国民の森」に指定。その中の一つが「仁別国民の森」であり、「天然秋田杉」を保存するとともに、景観の維持や市民の憩いの場として利用されている。太平山西麓の美しい保護林であり、周辺の自然環境と調和した三角屋根に白い壁の森林博物館や樹木園、散策路が整備されている。



## 2 聖体奉仕会 マリア庭園

添川の丘の上にあるカトリック修道院。聖母にささげられた日本庭園としてつくられた祈りの苑「マリア庭園」には、広大な草原が広がり、癒やされる景色である。



## 3 太平山リゾート公園

太平山(1170m)の大自然に囲まれた公園で、四季折々の素晴らしい景観を楽しむことができ、紅葉の時期の山々の景観は素晴らしい。また、豊かな自然の中に、温水浴施設(ザ・ブーン)、秋田市太平山スキー場オーパス、キャンプ場、植物園、学習センター(まんたらめ)など様々な施設を備える。



## 3 太平山リゾート公園 (秋田市太平山スキー場オーパス)

秋田駅から車で約30分の好アクセスで、気軽にファミリーで楽しめるスキー場。ナイター時は、ゲレンデから秋田市街の夜景も楽しめる。シーズンは12月下旬から3月中旬頃。1400台の無料駐車場があり、思う存分スキーを楽しめる。



## 4 藤倉水源地水道施設

歴史を感じさせる古い越流式コンクリート造りのダム。近代化遺産として全国で初めて国の重要文化財に指定され、日本三大美堰堤の一つといわれている。四季折々に変化する大自然の中に鎮座しており、一年を通して美しい景観を見せてくれる。明治40年(1907年)に秋田市内の飲料水、防災用水供給のために建設され、約70年間秋田市に飲料水を供給していたが、昭和48年に取水を停止し、沈澱池のあった場所は、藤倉記念公園として整備し、市民の憩いの場となっている。



## 5 県営手形山 1号住宅

秋田駅から北北西に約1500mの丘陵地に位置する県営住宅団地。木材を活用した公営住宅団地として位置付け、木の暖かみを感じられる街並みとして整備した。植栽された樹木(桜など)と共に周辺の環境と調和した景観である。



## 6 秋田駅東口周辺

秋田駅東地区の土地区画整理事業などの都市基盤整備により、急速に市街化が進み、景観も大きく変化しているエリア。アルヴェとNHKなどのシンボリックな建物があり、県都の玄関口にふさわしい、風格と魅力ある景観形成が図られている。



## 7 補陀寺

山間地の杉林の中に静かなたたずまいを見せ、貞和5年(1349年)に開山されたと考えられる秋田最古の曹洞宗禅寺。山門や本堂は、秋田市の文化財に指定されている。屋根廻りや天井、柱などの造りも重々しく、各所に施された彫刻や墨絵などからも、中核寺院の格式を感じさせる古風な様式であり、歴史的価値の高い建造物である。



## 8 太平山三吉神社

霊峰太平山山頂に奥宮、秋田市広面に里宮が祀られる太平山三吉神社は創建673年とされる古い歴史のある神社。古くより勝利成功、事業繁栄の霊験高い守護神として崇敬を受けている。鳥居から階段を登り、境内に入ると立派な社殿が見え、豊かな雰囲気にも包まれている。また、毎年1月17日に行われる「みよし梵天祭」は、境内で激しくもみ合うことから喧嘩梵天と呼ばれている。



## 9 旧羽州街道(戸島)

羽州街道の宿場である戸島宿。佐竹氏の本陣や佐竹孝岐守の菩提寺の満蔵寺などがあったことから、藩政期に発展を見せた。伝統的な町家が存在し、新しい建物も雰囲気にも配慮している通りである。



## 10 旧羽州街道(和田)

羽州街道の宿である和田宿。和田は戸島と月の半分の日数で宿駅を勤めていた。国道が街道の脇を通じたため、旧街道には車の交通量も少なくゆっくりと当時の宿場町を歩くことができる。



## 11 岩見ダム

三内川上流にある県営岩見ダムは、秋田県が昭和48年(1974年)に着工し、54年(1979年)に完成したダム。その高さは66.5m、長さは242.0mあり、迫力のある姿と山並みが素晴らしい景観を見せる。



## 12 へそ公園(鶴養地区への眺望)

秋田県の中心に位置することからへそ公園と名付けられた。丘の上からは鶴養地区を一望でき、春には里山の山桜が楽しめる。また、夜空に浮かぶ星座の観察もできる人気スポットである。



## 13 和田公園

JR和田駅から徒歩5分、小高い丘の上であり、和田地区の景色を眺めることができる眺望の良い公園。古くから地域住民が丁寧に手入れをしてきており、四季折々の緑と花を楽しむことができる。



## 14 河辺和田から見える太平山



## 15 五郎谷地第一溜池

周囲の木々を映し出す静かな水面が広がる景観。多くの野鳥を観察することができ、冬には白鳥が飛来する。



## 16 和田駅～式田への原風景

主要地方道秋北野田線から鉄道と平行に走る道路沿いには、辺り一面、田園風景が広がる。春には、水を張りキラキラと輝く水田を眺め、夏には青々とした稲の成長を感じ、秋には、稲刈りを待ち黄金色に輝く田園風景を眺めることができる。

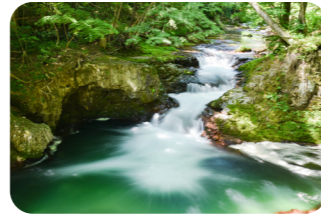


# 河辺地域

Kawabe Area



太平山や岩見川の自然景観が続く河辺地域には、田園による眺望景観が展開し、旧街道では歴史的な街並みが形成されています。市街地には河辺市民サービスセンター等の行政機能や公共公益機能が地域の中心的な役割を担い、秋田自動車道インターチェンジや秋田空港に隣接した七曲臨空港工業団地があります。平野部に農地、その外側に樹林地が広がり、岩見川上流には巨岩絶壁が連なる岨谷峡（岩見峡）や国指定天然記念物の筑紫森岩脈といった景勝地が点在。今後、これらを保全した景観づくりを目指しています。



## 4 岩見峡

岩見峡は、岨谷峡のさらに奥地の大又川沿いにある。岨谷峡に見られるような断崖壁の岩肌は見られないが、江戸時代、佐竹の殿様が落馬したとされる「殿測」、3段に分かれ優雅に落ちる「伏伸の滝」、自然によって船形に成型された「舟作」などの見事な景観が見られる。岨谷峡とは違い急流だけでなく、よどみや測といった水流にも変化がある。



## 1 筑紫森

標高392mの山。昭和13年（1938年）に国の天然記念物に指定された筑紫森岩脈（柱状節理）が有名。古来から信仰の山とされ、背後に鎮座する太平山詣での「お山かけ」として、多くの山詣者で栄えてきた。山頂は360度の展望を楽しむことができ、太平山や日本海が望まれ、絶景である。



## 5 鶉養

大又川と小又川に囲まれるように形成された集落。集落内には、石積みの見事な堰が張り巡らされており、農業用水等に利用されている。昔ながらの堰や茅葺き民家が残る農村景観は、秋田の原風景であり、心休まる景観をつくりだしている。



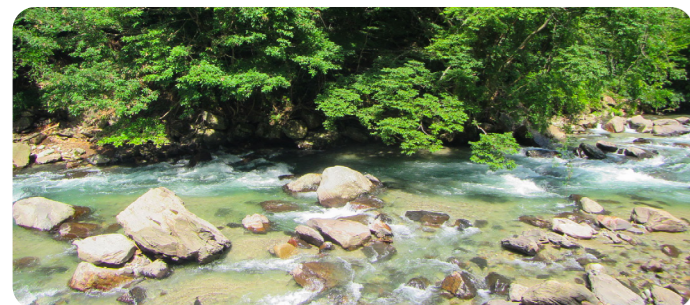
## 2 戸島桜並木

大正9年（1920年）戸島地区の南方約700mの所に秋田県で種畜場を開設後、道路沿いに桜が植樹された。当時は、「種畜場の桜」と言われていた。戸島の桜並木は、トンネル状になった桜を見ることができる数少ないポイントの一つ。



## 6 柳町通り

菓子舗、米販売店、衣料店等が立地しており、地域住民にとって欠かせない、地域に愛されている商店街である。河辺岩見温泉交流センターも近傍にあり、岩見三内地区の中心的な地域である。



## 7 千手院と岩見館跡

千手院、正しくは兩沢山千手院と呼ぶこの寺院（曹洞宗）は、秋田市歓喜寺の末寺で、1625年に開いたと言われ、裏手には、標高約90mの丘陵上に位置する単郭式山城の岩見館跡がある。木々に囲まれた厳かな本堂と緑が調和している景色は素晴らしく、紅葉の時期も見応えがある。



## 3 岨谷峡

岩見川上流にある渓谷で、紅葉の名所として知られている。約300mに渡って続く絶壁と渓流、そして緑濃い木々が織りなす渓谷美は、新緑から紅葉のシーズンに渡って、訪れる者を癒やしてくれる。秋田市中心部から車で約50分、春から秋にかけてはハイキングや渓流釣りを楽しむ人たちが賑わう場所である。



## 8 戸島神明社

羽州街道から少し離れた水田の中に大きな社を持つ神社。田んぼの中を参道が通り、一の鳥居、二の鳥居をくぐり、更に階段を登った先が境内となり、大きな狛犬、そしてその奥には重厚な社殿が正面に見える。拝殿の四隅には見事な力士像や龍の彫刻が施されている。



## 9 天徳寺

旧秋田藩主・佐竹氏の菩提寺となっている天徳寺は、曹洞宗に属する大規模な寺院として、伽藍の主要建造物がよく残っており、戦国期まで支配していた常陸地方の建築との関わりを示すものがある。国の重要文化財に指定されており、歴史的価値の高い建造物である。境内全域が県指定史跡とされ、参道には、古い石畳や約120本もの松が生い茂っており、厳かな雰囲気包まれている。



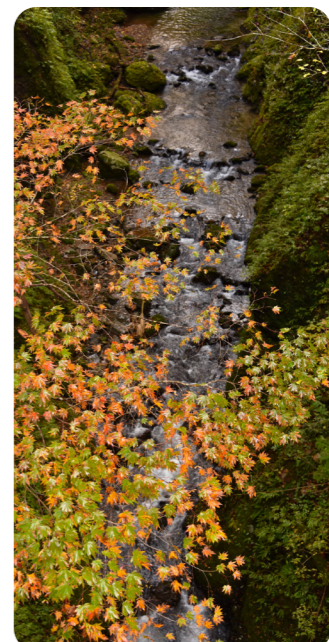
## 10 如斯亭庭園

旧秋田藩主佐竹氏別邸（如斯亭）庭園は、元禄年間にその起源があり、9代藩主・義和によって整備され「如斯亭」と名付けられた。室町時代の回遊式庭園の姿を残す庭園で、東北では無二の名園とも評され、平成19年に国の名勝に指定された。平成26年（2014年）から修復整備工事を実施し、往時の姿に蘇り、素晴らしい景観を見ることが出来る。



## 11 嵯峨家住宅

太平山麓の太平地区にある嵯峨家住宅は、江戸末期に建てられたと推定される豪農の歴史的建築物で、国の重要文化財に指定されている。嵯峨家はこの地の肝煎を務め、藩主を迎えるための「御成門」があり、直接縁側から入れる格式高い造りとなっており、新潟から東北地方の日本海側に多く見られる両中門造りの典型的な民家である。茅葺き屋根が素晴らしく、手入れが行き届いている庭園と織りなす景観は見応えがある。



## 13 仁別溪谷

旭川上流部の山内藤倉地区からの仁別国民の森までの間に、秋田杉やブナの原生林とともに美しい溪谷が広がり、四季折々に変化する自然景観は素晴らしい。溪谷沿いにサイクリングコースが整備されており、新緑の季節は、澄んだ空気と清々しい風を浴びながら、清流を感じつつ、大自然を堪能することができる。



## 12 鉱業博物館

鉱業および鉱石に特化した国内唯一の博物館であり、円柱と直方体を組み合わせた特徴的で手形地区のシンボリックな建築物。敷地内の植栽や芝生は管理が行き届いており美しく、特に桜の満開のトンネルが見事である。



14 天徳寺山墓地公園 (平和公園)

天徳寺山の丘陵地にある公園。樹木や植物の管理が行き届いているため、近隣の小学校の遠足や、地域住民の散歩など、憩いの場として広く利用されている。中央広場には、世界の恒久平和を祈念した平和塔があり、市内各所から眺めることができる。また、展望広場からは、秋田市の市街地から田園風景を望むことができる素晴らしい眺望ポイントとなっている。



16 手形山大橋からの眺望

県道横山金足線の手形山団地から添川地区につながる道路にある手形山大橋。近傍には、手形山配水地があることから、水道山の橋ともいわれる。この橋からは広く市街地を見渡すことができ、晴れた日に見える鳥海山と青空の調和した景色は素晴らしい。



15 太平山

秋田市・五城目町・上小阿仁村の3市町村にまたがる太平山県立自然公園には、標高1170mの主峰太平山や馬場目岳、赤倉岳、白子森など標高1000m級の連峰がそびえている。古くから信仰の山として知られ、山頂からの眺望も素晴らしく、男鹿半島や森吉山、秋田駒ヶ岳、鳥海山を望むことができる。また、市内各所から太平山を望む眺望景観は、春夏秋冬、一年を通して豊かな季節の彩りを楽しむことができる。



17 明田富士からの眺望

秋田駅東口から徒歩10分。東通明田地区にある標高35mの山で藩政時代以来、明田富士と呼ばれ、約5分で登頂する。山麓を流れる太平川、川をはさんで金照寺があり、山の中の景色を楽しみながら、気軽に頂上まで登ることができ、秋田市の中心部を見渡すことができる。頂上には、日陰になっている場所もあり、とても落ち着く空間である。



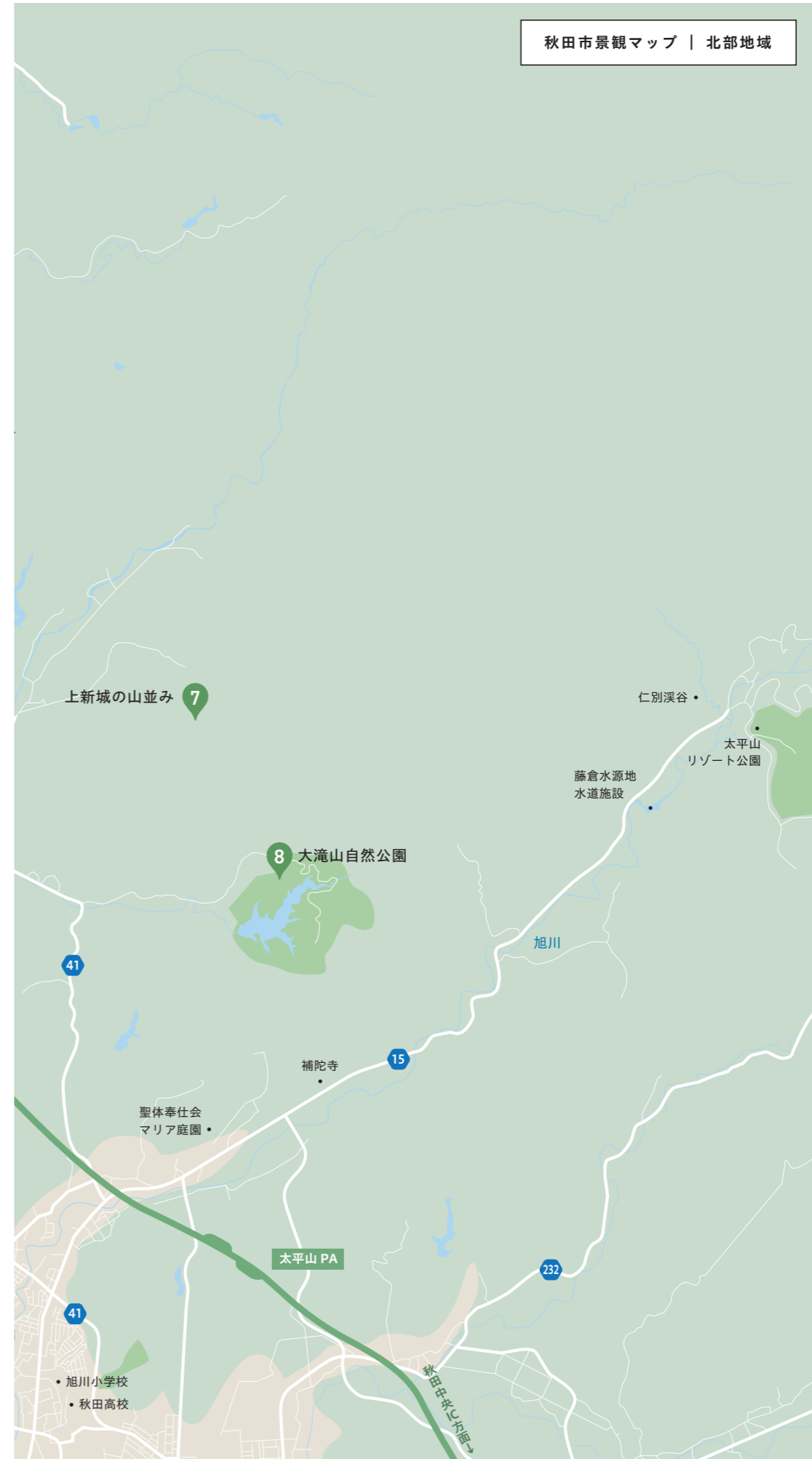
18 旭川ダム公園

仁別地区の旭川ダムの近くにある公園。遊歩道に沿って、ヤマモミジが植えられており、太陽の光で鮮やかに輝く紅葉が綺麗で、多くの市民が集う人気スポットである。ダムからの雄大な眺望や周囲のうっそうとした森林とあわせて、自然を愛する人々の散策の地となっている。



19 秋大前の紅葉

秋田大学手形キャンパスの正面の通り、主要地方道秋田八郎潟線に八重桜の並木がある。春には、濃いピンクの花びらがボリュームたっぷりに咲き誇り、その圧倒的な景観は素晴らしい。また、秋には、桜の紅葉と大学内の松の緑が綺麗なコントラストを演出し、趣のある景観をつくりだしている。



【景観要素の分類】

- 自然的景観
- 住宅地景観
- 業務地景観
- 拠点景観
- 歴史的景観
- 眺望景観

※この地図は、国土地理院発行の電子地形図を使用して作成しています。



20 秋田ノーザンゲートスクエア

令和元年（2019年）に竣工した秋田駅東口に位置するスポーツ施設で、バスケットボール専用の体育館や多目的室などがある。外観は白を基調とし、壁面の一部は、風雪にさらされた秋田杉を連想させる紫色（ふしいろ）を配置することで、秋田の風土に根差した景観を演出している新しい都市景観である。令和2年（2020年）にウッドデザイン賞を受賞している。



22 横山金足線(山手台)からの眺望

横山金足線に隣接した丘陵地にある山手台地区は、住宅地全体が小高い丘になっていることから眺望に恵まれており、山並みや田園風景を望むことができる。また、横山金足線では、米どころ秋田らしい田園風景や好天時には遠く鳥海山などの自然景観を望むことができる。



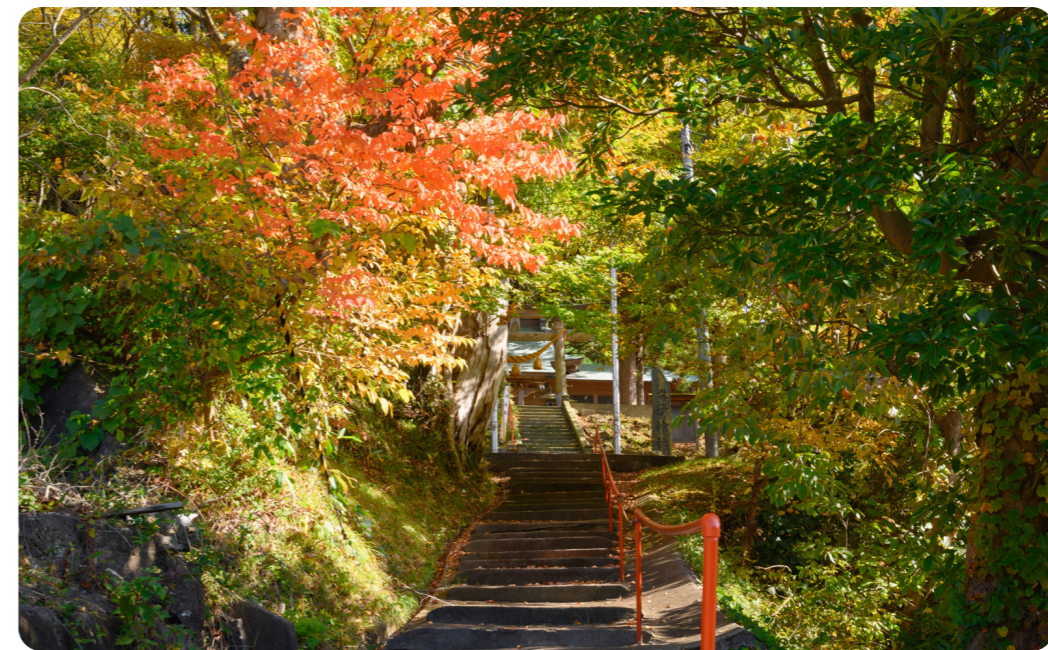
21 秋田駅東口2Fからの眺望

秋田駅東口の2Fからは、四季折々の太平山の姿を望むことができる。土地区画整理事業などにより、都市基盤整備が進み、良好な居住環境が整備され発展する駅東地区。変化が大きい地区であるが、太平山への眺望は、後世に引き継ぐべき景観である。



23 手形陸橋からの眺望

千秋城下町と手形山崎町を結ぶ手形陸橋。陸橋には立派な親柱に橋銘板や秋田をイメージするイラストが設置されており、千秋公園の緑や、太平山の山並み、秋田駅周辺や東部地区の街並みを望むことができる。



24 手形山近くの神社周辺(太子神社)

秋田大学手形キャンパスの裏手、手形山の閑静な山すそには、平田篤胤墓地や佐竹東家の菩提寺の白馬寺などが点在し、歴史の香り高い一角で、厳かな雰囲気を感じさせている。太子神社の境内には、金比羅夫婦円満の神が宿る木と崇められている「夫婦杉」など、存在感のある古木があり、歴史的な趣を感じることができる。



25 平和公園からの眺望

平和公園は、標高80mの天徳寺山の丘陵地にあることから、市内を一望できる素晴らしい眺望点。日本海、男鹿半島、秋田駅周辺のビル群、太平山など、パノラマ的に景色を望むことができる。特に夕日に照らされた街並みは、素晴らしい景観を生み出し、人気スポットとなっている。



22 金足から添川の  
田園風景



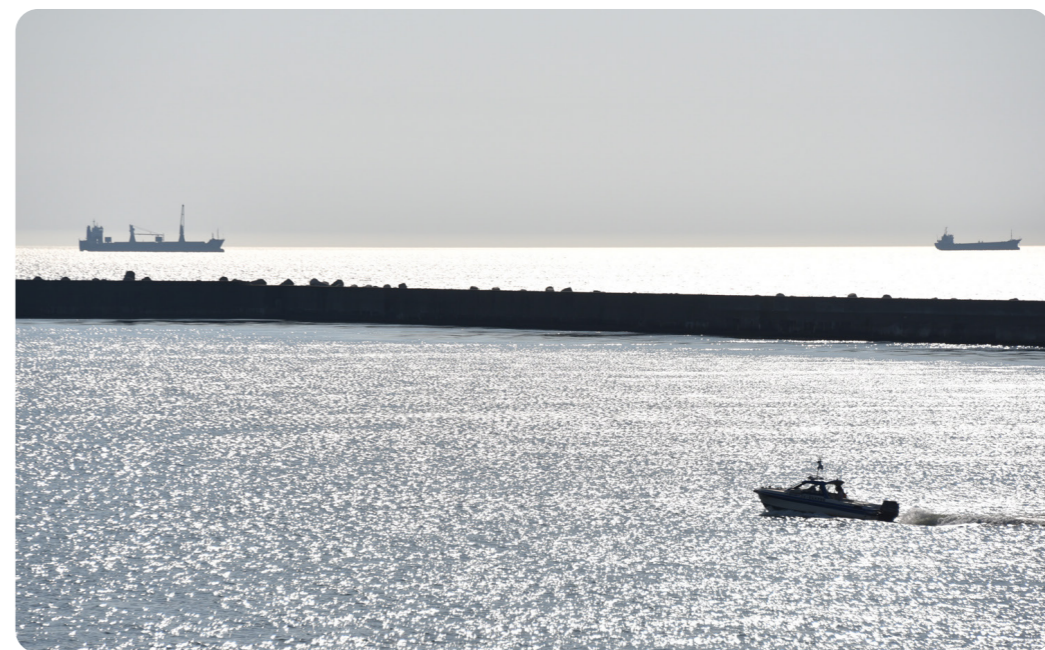
金足から添川を通る県道秋田昭和線は、道路の両側に田園風景が広がり、春の田植えから、青々と地を埋め尽くす夏、そして、秋には黄金色の絨毯のように広がる景色を見せる。

23 飯岡山からの景色



標高38mの飯岡山。山頂には、天保9年(1838年)山神の石碑がある。緩やかな傾斜を登ると山頂から、近郊の田園を望むことができる。

24 秋田マリーナ  
からの海



秋田港から出戸浜方面へ向かう途中にある秋田マリーナは、マリンレジャーの中心地。男鹿半島まで続く海岸線や日本海に沈む夕日や綺麗な星空など、素晴らしい景観を楽しむことができる。



### 11 本町通り

旧羽州街道である本町通りは、土崎神明社祭曳山行事のメイン通りである。大正初期の建造物などが点在し、歴史的風情を残す通りである。



### 17 秋田高専

昭和39年（1964年）に設立された国立工業高等専門学校。秋田市飯島地区のシンボリックで近代的な建物が特徴。管理が行き届いている松や芝生など、建築物と植栽のコントラストも素晴らしい。



### 12 飯島に残る農村風景

昔ながらの農家の倉庫が現存し、入り組んだ道のあちこちに農村風景が残っている飯島地区。秋田らしい田園風景が広がり、稲刈りの時期には、黄金色の絨毯が広がり、壮大な景観を見ることが出来る。



### 18 飯島神社

上飯島駅の南約900mに鎮座している。飯島地区のお稲荷さんであり、飯島全域の氏神である。真っ赤な鳥居や神狐、神社の象徴である松林が豊かな景観をつくりだしている。



### 13 三浦家住宅

三浦家住宅は、秋田市の東北部、金足黒川地区に位置し、旧奈良家、嵯峨家と並ぶ県内屈指の豪農屋敷で、平成18年（2006年）に国の重要文化財に指定された。農村地帯の中の高台に、屋敷林に包まれた豊かな館が、周囲の景観のアクセントとなっている。



### 19 土崎駅のステンドグラス

明治35年（1902年）に開業し、地域住民や多くの学生に利用されている。平成24年（2012年）にリニューアルされ、港町にあるモダンな外観をコンセプトとし、レンガ調の外壁やステンドグラスが施されており特徴的である。駅舎の照明に映し出されるステンドグラスは、幻想的な雰囲気を醸し出している。



### 14 黒川油田

秋田市金足黒川字小草津にある日本有数の噴出量を誇った黒川油田。黒川ロータリー式5号井は昭和43年（1968年）、近代化遺産保護政策の先鞭として秋田市の文化財に指定された。その名のとおり、黒い油が産出することで知られ、地名である小草津も臭水に由来する。



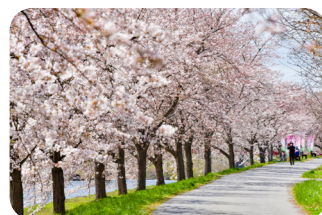
### 20 外旭川の油田

秋田市郊外を流れる草生津川一帯の八橋地区、外旭川地区は、古くからの一大産油地帯。昭和30年（1955年）前後には年間25万kl超を生産しており、国内最大級の油田として栄えていた。外旭川にある秋田市卸売市場の近傍に「日本一大油産地」の石碑がある。今も稼働するポンピングユニットが数機あり、当時の様子を思い起こさせる。



### 15 旧国道から見える港

高清水公園の丘を下る旧国道から見える秋田港と青い海、そしてセリオンは、四季折々の素晴らしい景色の移ろいを感じることができる。好天時には、遠く男鹿半島を望むこともできる。



### 16 新城川の桜並木

平成15年（2003年）に植樹した桜を飯島地区の4町内会により結成された新城川桜植樹会が維持管理している。さくら祭り期間中にライトアップされた桜が新城川に映し出される景観は幻想的。



### 21 自衛隊通りの桜並木

陸上自衛隊秋田駐屯地前の通称自衛隊通りの約1.7kmの桜並木。昭和34年（1959年）以降、付近の町内会の人々が緑化運動の一環として植樹し、今も愛されている。見通しの良い通りに沿って植えられた桜が一斉に満開になる4月は、往来する人々の心に安らぎを与えてくれる。



【景観要素の分類】

- 自然的景観
- 住宅地景観
- 業務地景観
- 拠点景観
- 歴史的景観
- 眺望景観

※この地図は、国土地理院発行の電子地形図を使用して作成しています。

## 西部地域

Western Area



雄物川の流れて沿って街並みが形成された西部地域は、雄物川の南側と北側とで性格が異なります。南側には新屋表町通りや新屋駅を中心とした街並みがあり、国道7号から下浜地区には海沿いに住宅を中心とした市街地が形成されています。西部工業団地や下浜工業団地などのほか、大森山動物園を中心とした大森山公園や海水浴場、秋田公立美術大学などの存在も地域を特徴づけています。海岸沿いに連なる松林、日本海や雄物川の水辺景観なども特徴的で、これらに配慮した景観づくりが行われています。一方、北側には大規模な工業団地やスポーツ施設等が形成され、中央地域との繋がりが地域を特徴づけています。



### 1 浜田森林総合公園

秋田市制80周年記念事業（昭和44年、1969年）の一つとして整備した大森山公園近接地の秋田市浜田にある公園。約380本の梅を栽培している「梅林園」や桜を中心とした「花木園」、「木の実園」、「栗園」、「市民の森」などがあり、「市民のレクリエーション」の場として開園。園内には、管理棟、遊歩道、テニスコートなどがあり多くの市民に利用されている。



### 2 三角沼

昭和初期の治水工事によって雄物川の残存湖となった三角沼。かつて幾度となく氾濫した旧雄物川の川筋の名残を留める水辺景観。モツゴ、ウグイ、ヌマガレイ、イトヨ等、多様な魚種が生息している。三角沼公園には、駐車場やトイレもあり、小高い丘を散策したり、釣りを楽しむことができるため、市民の憩いの場となっている。



### 3 大川端带状近隣公園

製紙工場の排水がせせらぎに生まれ変わり、桜並木と水辺を生かして整備された公園。その桜並木は、地域の憩いの核となっている。地元では、「あらかくら公園」として、観桜実行委員会により、さくらまつりが開催されている。約300本を超える桜が、約1.2kmに渡って植樹されており、シーズンには1万人を超える市民でにぎわう桜の名所になっている。貴重な地域資源を将来に引き継ぐため、NPO法人等により、追肥や剪定などが実施されるなど、地域に愛され続ける公園である。



### 4 大川散歩道

平成17年（2005年）、第19回市民が選ぶ都市景観賞に選ばれており、この散歩道が見せる景観は、周辺の学校の生徒をはじめとする道行く人々の心を和ませる。また、沿道の木々が住宅街の家並みに四季折々の彩りを添え、憩いの空間としても親しまれている。冬には、あらか大川散歩道雪まつりが開催され、光のファンタジーロードとして、約3000個のミニかまくらが幻想的に夜を彩る。



### 5 新屋表町通り

町家や酒蔵、湧水に彩られた、歴史的情緒が漂う秋田市中でも歴史的まちなみを色濃く残した、大変貴重な通りである。古くは羽州浜街道の町で、雄物川を利用した舟運の拠点、豊富な湧き水を利用した酒屋の町として栄えた通りでもある。往時の隆盛を偲ばせる歴史的建造物が多く建ち並び、国登録有形文化財がある。



### 6 日吉神社

新屋表町通りの南端にあり、背の高い木々（けやきなど）と鳥居が凛とした雰囲気を感じさせている。建物自体は明治28年（1895年）の火事で焼失したが、大正6年に竣工。境内には巨木が立ち、歴史の重さが伝わってくる。



### 6 日吉神社

新屋のお祭りとして知られている鹿島祭り。各家で作った鹿島様を船型に乗せ、日吉神社までにぎやかに練り歩く。古くより滋賀県大津坂本の日吉大社の別社と称されている日吉神社では、5月25～26日に山王祭、6月第2日曜日には、鹿島祭りが行われる。写真は、鹿島祭りの様子の一部で、各町内が漫画の主人公や世相を風刺した鹿島舟をつくる。以前は収穫を祈る行事であったが、現在は子供の成長と健康を願う意味合いが強く、参加する子供達の脳裏には、この祭りの思い出が地域の文化として刻まれる。



### 7 栗田神社

日本海に面した新屋地区は、一年中飛砂により甚大な被害を受けていたため、藩の命令を受けた栗田定之丞が、砂防事業に生涯をかけて従事したその功績を称え建てられたもの。現在の社殿は、昭和10年（1935年）11月2日落成した。松林の中に鳥居と社殿が鎮座し、道行く人々にやすらぎの風景をもたらしている。



### 8 公立美術大学

8棟の古い倉庫が並び、うち7棟を実習室や作品展示室など学生達のアトリエとして活用している。蔵の土壁と現代建築のコンクリートや金属が好対照をなし、独特の景観となっている。昭和初期における木造の建築工法が見られる建築物として、高く評価されており、平成12年（2000年）には国の登録有形文化財として登録されている。



### 5 草生津川岸の桜並木

草生津川沿いにある八橋地区から寺内地区のコスモロードを散策しながら多くの市民が桜並木を楽しんでいる。外旭川市営住宅団地を流れる支流の両岸にも素晴らしい桜並木があり、自然景色を楽しむことができる。



### 6 北に付近の田園風景 (秋田厚生医療センター付近)

秋田市内から秋田北インターに向けて進むと、田園地帯が広がってくる。米どころ秋田を象徴する田園や山並みは、春の田植えから秋の稲刈り、山の紅葉など四季折々に移ろいを感じさせ、その変化が生活と心を豊かにしてくれる。



### 10 港の風景

土崎側に倉庫、運河の向こうには工場や貨物船が展望できる壮大な風景。北前船の寄港地として古くから日本海における海上の要所として発展してきた秋田港。年間を通して子供も楽しめる人気の釣りスポットでもある。



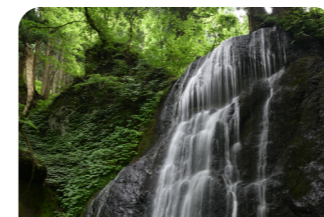
### 7 上新城の山並み

秋田市北部の土崎地区から北東へ約4kmに位置した所が上新城地区。昔と変わらぬ川、水田、山並みなどの自然風景が素晴らしい。見渡す限りの水田の中に、糠塚盛の一本松がぼつんと立っており、とても印象的。



### 10 港の風景 (セリオンの夜のライトアップと海)

夜の港の風景を彩るセリオンのライトアップ。ブルー、レッド、クリスマスカラー、紅白など、様々な色や模様を変化させ、市民を楽しませている。周辺の工場、船舶などの照明も加わり、秋田港の夜景が一体となり、素晴らしい景観をつくりだしている。



### 8 大滝山自然公園

昭和49年（1974年）から6年の歳月をかけて整備された公園で、その広さは約109ha。大滝山自然公園のシンボルである標高差11mの大滝、水遊びのできる遊水路や季節の樹木を楽しみながら散策できる遊歩道もあり、多くの市民が自然に触れ、体感できる貴重な場所となっている。



### 10 港の風景 (セリオンからの眺望)

平成6年（1994年）にオープン。セリオンという名称は、全国から寄せられた6,300件の応募の中から選ばれたもの。地上100m展望室からは360度見渡すことができ、秋田市のシンボルである太平山や市街地や男鹿半島や鳥海山を望むことができる秋田市随一の眺望スポット。



### 9 下新城中野地区計画

下新城中野地区計画区域は、秋田市の北部、JR追分駅から約1kmに位置し、西側には秋田県立大学がある。既存の住宅環境の維持・保全に配慮しつつ、新規開発住宅地区では、低層戸建住宅地を形成し、新規開発沿道地区では、サービス施設の立地を誘導し、良好な住居環境の形成を図ることを目的としている。生垣の推奨やセットバック等による閑静な住宅景観がつけられつつある。



### 10 港の風景 (夕日)

秋田港にある倉庫や工場を照らしながら夕日が沈む黄昏時は、少しずつ水平線が赤く染まり、幻想的な景観をつくりだしている。沈みゆく太陽と日没後の色合いの変化が織りなす景観は感動的である。

# 北部地域

Northern Area

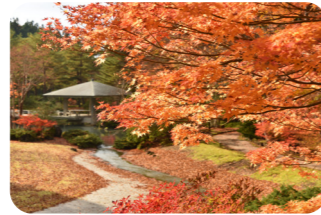


秋田港を中心とした北部地域には歴史ある街並みや田園、丘陵地など豊かな自然環境があります。秋田港は港湾機能に加えて国内外観光客の交流の場。土崎地区には港町として栄えた歴史があり、羽州街道沿いでは歴史的な寺院や農家建築、商家等を活かした景観づくりが行われています。土崎地区の歴史と文化を伝える土崎みなと歴史伝承館はユネスコ無形文化遺産に登録された土崎神明社祭の曳山行事や、土崎空襲、北前船等に関して展示するほか、史跡秋田城跡や秋田県立博物館、県立小泉瀉公園、大滝山自然公園などの歴史・文化資源と自然的資源が北部地域の特性を表しています。また、海沿いには臨海工業地域が整備され、産業や物流、エネルギー供給の役割を担う地域としても機能しています。



## 2 小泉瀉公園 (旧奈良家)

男瀉の近くにある旧奈良家住宅は、江戸時代中期の宝暦年間に奈良家9代善政（喜兵衛）によって建てられた。秋田を代表する両中門造りの大型農家建築物として、初期の形態をよく留めている。屋敷林や庭園は古い歴史を誇り、独特の景観をつくりあげており、昭和40年5月に国重要文化財に指定された。



## 2 小泉瀉公園 (水心苑)

昭和54年（1979年）に開園した「水心苑」は、秋田県では初めての本格的な林泉廻遊式日本庭園。園内には多くの樹木があり、特に紅葉は素晴らしい景観をつくりだし、多くの人を魅了する。



## 2 小泉瀉公園 (県立博物館の桜並木)

昭和50年（1975年）に開館した秋田県立博物館。考古・歴史・民俗・工芸・生物・地質の6部門などからなる総合博物館であり、展示だけでなく、調査研究活動等も行っている。女瀉を囲むように桜並木が続いており、車に乗りながらお花見ドライブができる。



## 3 四つ屋街道のイチョウ並木

昭和62年（1987年）に市民に親しまれる道路愛称により「四つ屋街道」と名付けられた。その街道を象徴するものが、整然と植樹されているイチョウの木々である。夏は青々とした緑で通りを染め、秋になると黄金色のイチョウが輝き、遠く太平山の山並みを望むことができる素晴らしい景観である。

## 4 将軍野南三丁目の3本の松

かつて秋田市で運行していた路面電車、秋田市電遊園地停留所のあった場所にある3本松。当時から変わらぬ姿を留めており、往時の隆盛を今に偲ばせる。



## 1 高清水公園 (秋田城跡)

高清水丘陵の秋田城跡を公園として整備。奈良時代から平安時代にかけて東北地方の日本海側に置かれた地方官庁の遺構跡で、政治、軍事、文化の中心地であった。平成10年（1998年）に復元された外郭東門と築地塀は、発掘調査の成果を忠実に再現したものである。自然豊かな緑や空素沼などの多様な景色を歴史とともに身近に感じることができる。



## 2 小泉瀉公園

南北両端に広がる男瀉、女瀉を中心とし、後方に広がる小高い丘陵地を組み合わせた公園。広大な自然を巧みに利用して、自然の風致、景勝の保全と野外レクリエーションの場として整備され、湿原と周囲の旧家とが調和し、独特な自然・農村の風景となっている。また、両瀉で多くの野鳥を観察することができ、渡り鳥の中継地点としての役割も果たしている。



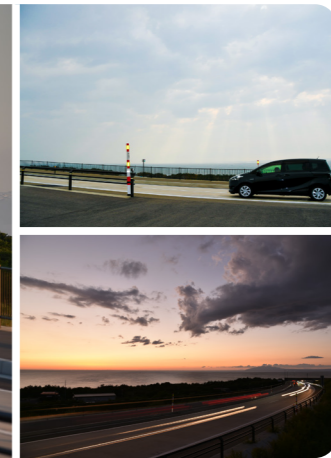
## 9 雄物川河口

源流から約133kmに及ぶ雄物川の終着点。広がる空と水面、太平山、男鹿半島、鳥海山まで見渡せる雄大な風景や夕焼けが美しく、夏には夕景、冬には河原に白鳥や鴨などの冬鳥が集まるなど、自然環境に恵まれた所である。



## 10 大森山

日本海と県道56号の間に位置し、標高123mの大森山。秋田市で人気の眺望スポットで、頂上の展望台からは、秋田市街、日本海、男鹿半島等の景色を一望できる。夕日や夜景、星空、雨上がりの虹などが特に綺麗に見える眺望ポイントである。



## 11 下浜サンセットロード

正面には日本海、右手に男鹿半島、左手には鳥海山と180度景色を楽しむことができる。日本海に夕日が徐々に沈む光景は、息をのむほど美しい。令和2年2月に第11回市民に親しまれる道路愛称により「下浜サンセットロード」と命名された。



## 12 新屋ガラス工房

県内外の作家のガラス作品を展示・販売しているほか、吹きガラス制作体験や手型・足型サンドキャスト体験もできる。ガラスの制作体験ができるガラススタジオやギャラリー、アトリエ、カフェなどの施設を備え、気軽にものづくりに触れられる空間となっている。切り妻屋根の建物は、醸造業が盛んな新屋の歴史を感じさせるような趣あるつくりとなっている。

カフェなどの施設を備え、気軽にものづくりに触れられる空間となっている。切り妻屋根の建物は、醸造業が盛んな新屋の歴史を感じさせるような趣あるつくりとなっている。



## 13 新屋西第一街区公園からの眺望

平成5年（1993年）3月に開設された面積0.2ヘクタールの都市計画公園。眼下に広がる市街地や、遠く太平山を見ることができる隠れた眺望ポイント。夕焼けや夜景も綺麗に見ることができる。近傍には、戊辰戦争で亡くなった佐賀藩士の墓がある葉隠墓苑があり、秋田と佐賀の縁を感じることができる。



### 14 長浜古戦場からの眺望

戊辰戦争の際、庄内藩兵が長浜の海岸から国見山を超え、城下に攻め込もうとして秋田藩と戦った古戦場。地元町内会では、戊辰戦争を次世代に語り継ぎ、郷土愛を育むことを目的に、環境整備が進められており、地域の貴重な資源として大切に保全する活動が行われている。綺麗な海を眺めつつ、歴史に思いを馳せる場所である。



### 15 新屋浜

新屋の昔の面影を残している新屋浜は、雄物川放水路により分断されたが、かつては漁業の拠点や新屋浜海水浴場として、とても賑わったところである。日本海の水平線とともに、静かに沈む夕陽を見られる景観はすばらしい。



### 16 下浜の海

羽越本線下浜駅から歩いてすぐの下浜海水浴場。松林を抜けるとエメラルドグリーンの海が広がる。地元のみならず、他県からも海水浴客が訪れる県下最大級の海水浴場であり、広がる砂浜に青い海と青空が映える景観はとても綺麗。北西には、男鹿の寒風山を見ることができる。



### 17 大森山動物園

秋田市大森山公園内に昭和48年（1973年）に開設した動物園。約15haの園内で多くの動物が飼育されており、エサやり体験などのイベントも開催されている。また、遊園地アニパの観覧車からは園内はもちろん秋田市街の景色を一望することができる。

#### 【景観要素の分類】

- 自然的景観
- 住宅地景観
- 業務地景観
- 拠点景観
- 歴史的景観
- 眺望景観

※この地図は、国土地理院発行の電子地形図を使用して作成しています。



#### 【景観要素の分類】

- 自然的景観
- 住宅地景観
- 業務地景観
- 拠点景観
- 歴史的景観
- 眺望景観

※この地図は、国土地理院発行の電子地形図を使用して作成しています。





# 南部地域

Southern Area



豊かな水田と丘陵地で構成された田園空間のなか、御所野ニュータウン等の宅地造成によって新しい住宅地景観の形成が進んだ地域です。ショッピングモールをはじめとした商業・流通・工業機能もあり、河辺・雄和地域の都市機能を補う地域連携拠点としての役割も担っています。蛇行する太平川の流れに沿った散策路の桜並木、地区のシンボルでもある金照寺山に整備された一つ森公園といった多様に展開する緑景観の豊かさを活かした景観づくりが行われています。



中を進む新幹線こまちの姿は、秋田らしい景観を形成しており、米どころ秋田を象徴する風景。

## 2 仁井田の田園風景

かつては、荒野であった仁井田、四ツ小屋、牛島地区一帯は、仁井田堰の開削と新田開発により、現在の広大で美しい農地に生まれ変わった。市街地の外縁部に広がる田園風景の



小さな屋形船が浮かび、桜とともに醸し出す風景は、幻想的である。百石橋、愛宕下橋、太平川橋から望む景色も素晴らしい。

## 3 太平川沿いの桜並木

桜並木が2kmに渡って続き、市街地に水と緑の潤いを与えている。毎年、桜の時期には「太平川観桜会」が開催され、愛宕下橋付近には屋台が並び、沢山の人が訪れる。太平川橋近くには、



## 1 一つ森公園

市街地と田園に囲まれた小高い丘陵地にあり、日本庭園、ロックガーデンなどからなる静的レクリエーションとコミュニティ体育館、ジョギングコースなどからなる動的レクリエーションの

共存している公園。市民の休息・鑑賞・散策・遊戯運動施設等総合的に利用することができ、自然が豊富な公園として、四季折々の景観を楽しむことができる。



## 1 一つ森公園(友誼亭)

昭和62年(1987年)、蘭州市との友好提携5周年を記念し、建てられた中国風あずまや。高さ11.68メートルの中国の伝統的な建築様式である「六角一層瓦葺き」を採用しており、屋根

は繊細な細工が施され、色鮮やかで周囲の緑とのコントラストが美しい。友誼亭のある自由広場では、春は花見、夏はBBQ、秋はナベッコと、多くの市民に利用されている。



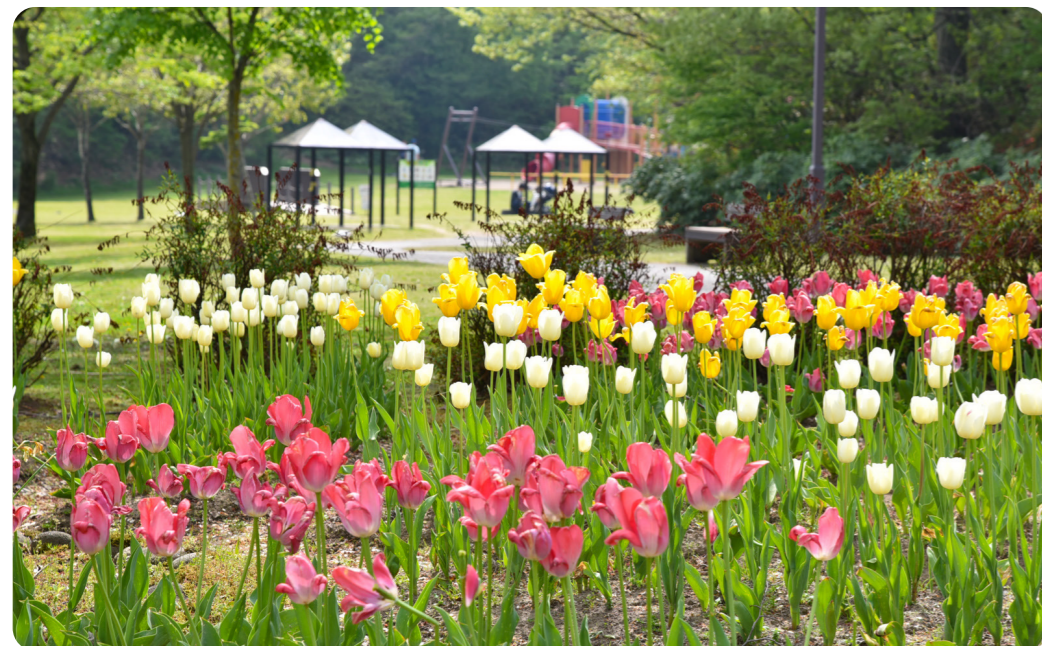
## 4 落畑

地域の農家が耕作している畑。高さ1.5m、直径1mを超える秋田落が群生する姿は圧巻。秋田市の初夏の風物詩として、毎年6月に「あきた観光レディー落刈り撮影会」が開催されている。か

すりにもんべ姿のあきた観光レディーが落を刈る姿を、多くのカメラマンが撮影。昔の落刈りを彷彿させるひとときである。また、四ツ小屋地区では、あきた落刈り体験をすることもでき、インスタ映えスポットとしても話題となっている。

## 5 御所野総合公園

自然的資源や歴史的資産などを活かし、将来的なニーズにも柔軟に対応するような複合多機能型の緑地環境の創出を目的として整備された公園。多くの木々に囲まれた広がりのある緑地景観が素晴らしく、複合遊具やテニスコートのほか、国指定史跡地蔵田遺跡などもあり、広く市民から利用されている。



## 6 御所野ニュータウン

秋田市の東南部に位置している御所野ニュータウンは、住民の提案による地区計画に従い、住宅、産業用地、医療、福祉、学校、公園などが機能的に配置されて、緑化された美しい街並みが形成されている。



## 7 牛島商店街

ネオン看板がひととき目立つ牛島商店街。明治から昭和初期の店舗が数多く現存する、かつての秋田の商店街の原風景が垣間見える。羽州街道沿いに商店のほか、銀行、郵便局、医院などが建ち並ぶ。



## 8 仁井田堰

400年の長きにわたり美田を潤し続けてきた仁井田堰は、江戸時代初期の家老梅津憲忠による新田開発(2000石生産)事業の一環として岩見川から用水を通じたもの。うっそうとした森と

豊かな水辺空間の調和が素晴らしい景観を形成している。農業用水、生活用水として利用されてきただけでなく、水辺に生きる淡水魚、両生類、昆虫、野の花々など、豊かな生物多様性を支えている。



## 9 旧黒澤家住宅

約300年前に遡る可能性のある上級武家住宅として、現在の中通三丁目に建てられたもので、江戸時代の武家の生活を支える主屋、米庫、小屋、井戸、氏神などがセットで残っているため、全国的にも類例がない建物である。昭和60年(1985年)に黒澤家から秋田市へ寄附され、その後、一つ森公園内に移築され、周辺の緑と溶け込み、素晴らしい景観を生み出しており、平成元年に国の指定重要文化財に指定された。



## 10 地蔵田遺跡

秋田市南東部にある御所野台地の南端、標高31mに位置しており、木柵で囲まれた弥生時代前期の集落跡として特に注目され、平成8年に国の史跡に指定された。遺跡からは、竪穴住居跡4軒、木柵跡3条、土器棺墓25基、土墳墓51基が発見された。出土した土器棺の中からは、九州福岡地方ではじまった遠賀川式土器の文様のある貴重なものもあり注目された。集落跡を復元した「弥生っこ村」では、歴史的景観を見るだけでなく、様々な体験学習をすることができる。



## 11 三皇熊野神社

本宮(旧三皇神社)と里宮(旧熊野神社)があり、明治44年(1911年)に合祀し、三皇熊野神社と改称。境内には坂上田村麻呂將軍の杖に根がついたと言うブナの大木があり、地上八尺位の

所から水が溢れ「霊水の大木」と言われた。その霊水は眼病に効くと言われており、平成27年(2015年)に復元された。境内には、エンジュ、きたこぶし、ブナ、ケヤキなどの樹木があり、身近な緑の景観を堪能できる。



## 12 遊学舎

県民のボランティア・NPO活動や余暇・文化活動など、自由時間を活用した様々な活動を応援するため、秋田県が整備したもの。県産材の杉をふんだんに使い、木の持つ柔らかな温もりが

伝わる棟や昭和初期の民家を移築した棟などからなる遊学舎は、木造建築の素晴らしい景観を見ることができる。



## 13 ぼかぼかオレンジロードの桜並木

秋田南高校裏にある散歩道で、地域住民や市民による「ぼかぼかオレンジロード愛護会」により、自主的に清掃が行われている。また、路上での夏祭りなどのイベントも行われており、地域住民の財産として大切にされている。



## 14 四ツ小屋近くの田んぼ道

かつて、荒野であった仁井田、四ツ小屋、牛島地区一帯は、仁井田堰の開削と新田開発により、現在の広大で美しい農地に生まれ変わった。代かき後の田んぼは、まるで鏡のようになり、周辺の景色を写し出し、遠く鳥海山を望む景色は、素晴らしい。



## 15 仁井田から見える太平山



## 16 四ツ小屋から見える太平山



## 17 御所野ふれあい地区公園からの眺望

御所野イオンモールから四ツ小屋方面へ下った途中、展望台がある公園。御所野の台地から望む街並みや山並みの景色は、とても素晴らしい。週末には、多くの家族連れでにぎわう御所野地区でも人気の公園である。